

## シールドマシン事業の合併会社「地中空間開発株式会社」が営業開始

日立造船株式会社（大阪府大阪市、取締役社長兼COO：三野 禎男、以下、日立造船）と川崎重工業株式会社（東京都港区、代表取締役社長執行役員：橋本 康彦、以下、川崎重工）は、シールドマシン事業の合併会社「地中空間開発株式会社（大阪府大阪市、平山 真治社長、以下、地中空間開発）」の設立に向け準備を進めてきましたが、本日、地中空間開発が正式に発足し、営業を開始しました。

シールドマシンは、地下鉄・地下トンネルなどの交通インフラや、電線や水道管、ガス管などのライフラインを地中に通す空間を作るために必要な建設機械であり、地中空間開発という社名には「単に地中に穴を通すだけでなく、新たな空間を創造し、人類の発展（時空をつなぐ、安全・安心を確保する）に資する会社になる」という想いを込めています。

地中空間開発は、両社が保有する営業力や技術力、多種多様な製品ラインナップ、サプライチェーンなどの強みの活用・強化によって、シールドマシンの営業・エンジニアリング業務を行います。

日立造船は1967年から、川崎重工は1957年からシールドマシン事業を国内外で展開しており、日立造船は小口径から超大口径、異形、矩形などバリエーション豊富な機種を国内外で1,300基以上を納入し、川崎重工は超大口径や高水圧、岩盤や長距離掘削に適した機種を国内外で1,400基以上を納入しています。

近年は、両社とも主に国内の鉄道、地下鉄や道路、下水道などのトンネル工事向けにシールドマシンを納入してきましたが、中長期的には国内市場の成長に限られる一方で、欧州や北米、南米、中東などでの市場参入の機会や、インドや東南アジアなどでの地下鉄整備を中心とした継続的な需要が期待されています。

地中空間開発は、統合により生まれる営業・技術分野のシナジーを発揮し、国内外での事業拡大を図るとともに、シールドマシン事業を通じて新しい価値を創造して顧客のニーズに応え、社会インフラ整備に貢献していきます。

### 合併会社の概要

商号	地中空間開発株式会社（英文商号：Underground Infrastructure Technologies Corporation、略称：UGITEC(ユージーアイテック)）
代表者	代表取締役社長 平山 真治
本社	大阪府大阪市北区堂島1丁目5番30号 堂島プラザビル3階（TEL：06-7222-0837）
東京事務所	東京都港区芝浦3丁目9番1号 芝浦ルネサイトタワー8階（TEL：03-6777-7101）
事業内容	シールドマシンの営業・エンジニアリング
資本金	480百万円（出資比率 日立造船50：川崎重工50）
ウェブサイト ロゴマーク	<a href="https://ugitec.co.jp">https://ugitec.co.jp</a> 